

◇ ニ ュ ー ス ◇

教 室 関 係

§ 人間文化研究科（博士課程）の充実

今年度から人間文化研究科に人間環境学専攻が設置された。浅海先生は同専攻の人間生態論講座を担当されることになった。53年度から比較文化専攻と人間環境学専攻にそれぞれ講座1が増設される見込みである。22回生の速藤幸子さんと太田理子さんが合格した。

§ 尾留川正平先生逝去

51年度に大学院で自然地理学特論Ⅳを講じられた筑波大学名誉教授尾留川正平先生は、本年1月21日食道ガンの為亡くなられた。教室からは生花一簣をお供えて弔意を表した。

学 会 関 係

氏 名	テ ー マ	学会誌名(巻・号etc) その他記事
浅 井 辰 郎	<ul style="list-style-type: none"> ○アイスランドの文化と環境 これとニューファウンドランド・日本との比較 ○新概念「地理量」の意義とその若干の記載例 ○高校卒業生の修学旅行評価に関する調査結果速報 ○「地理量」について ○「男女共学への迷い」 ○地域の細分度に応ずる地域相関量の変化について ○アイスランドは住みよいか ヴィーキング時代から現在まで 	<ul style="list-style-type: none"> 比較文化研究会報9号 (1976) お茶大紀要30巻(1977) お茶大付属高校紀要22号 (1977) 1977. 5. 7 都立大グレコ 会で発表 作楽復巻第21号 人文地理学会大会研究発表 要旨 (1977) 北欧(Norden)17号 (1977)

浅海重夫	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ニュージランド北島の火山灰土壌に関する若干の問題 ◦ 大百科辞典「山」 ◦ 北海道小平町の地下水調査報告 	<p>第四紀研究 15-4, (1977-3)</p> <p>講談社 (1977-10)</p> <p>共働学舎 (1977-12)</p>
式正英	<ul style="list-style-type: none"> ◦ カラー空中写真の縮尺別判読効果について ◦ 榛名中山トンネル周辺の地形 ◦ バイエルン・フォルアルペン河谷堆積物とムルナウ礫層 ◦ 氷河時代と生物の進化(座談会) ◦ 中央アジアの地理学的調査(座談会) ◦ 一般教育研究資料 昭和51年度 ◦ 白馬村野外調査レポート 	<p>「カラー空中写真総合利用に関する調査解析業務報告書」 (国土地理院)(1977.3)</p> <p>「上越新幹線に伴う環境調査研究報告書II資料篇」 (法政大学工学部) (1977.3)</p> <p>地学雑誌 vol 86. No 1 (1977.2)</p> <p>アニマ No 49 (1977.4)</p> <p>地理 vol 22. No 10 (1977.10)</p> <p>編著(お茶の水女子大一般教育研究会) (1977.3)</p> <p>編著(お茶の水女子大一般教育研究会) (1977.3)</p>
井内昇	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 総合的科目と野外科学の方法 	<p>「一般教育研究資料」 昭和51年度 (1977)</p>
内藤博夫	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 工業労働力の移動と集積 ◦ 工業労働力の地域間移動 新規学卒者の場合 	<p>北村嘉行・矢田俊夫編「日本工業の地域構造」所収</p> <p>経済地理学会12月例会</p>
斉藤功	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 農業開発計画と利用需要 ◦ 南伊豆における沿岸集落の変貌(共) ◦ シンガポールの風土と社会(共) ◦ 利根川中流部豊里村の農業生産(共) ◦ 牧畜 	<p>「里山地域開発保全計画調査報告書」 (1977.3)</p> <p>人文地理学研究 I (筑波大) (1977)</p> <p>地理月報 238, 244号 (1977)</p> <p>経済地理学会7月例会</p> <p>「新訂経済地理 I」大明堂 (1977.9)</p>

瀬戸 玲子	<ul style="list-style-type: none"> ◦首都圏における昭和30~50年の土地利用の変化 メッシュ法による調査 ◦地形図の図郭と目盛 ◦伊那谷北部 	<p>地図 vol 15 No.2</p> <p>地図の友 vol 19. No.10</p> <p>地図の友 vol 19. No.11</p>
小野 美代子	<ul style="list-style-type: none"> ◦宍道湖・中海の堆積物中の窒素およびC/N比分布 について(共) 	<p>地質調査所月報 28巻 7号</p>
吉田 晶子	<ul style="list-style-type: none"> ◦環境認識と行動(共) 	<p>日本地理学会秋季大会</p>
松崎 正子	<ul style="list-style-type: none"> ◦黒ボク土の分布規定条件と生成環境 静岡県磐田原を例として 	<p>日本地理学会秋季大会</p>
太田 理子	<ul style="list-style-type: none"> ◦渥美半島赤羽根町の農業構造 	<p>経済地理学年報 vol 23. No.2</p>